

商品部後藤の中国視察 レポート

……『お話しサラダ』より

オリンピック開催が北京に決まり、ますます盛り上がりを見せる中国。セーフティーガードやWTO(世界貿易機構)参加など、今や新聞に中国の動向が載らない日はないといっても過言ではありません。そんなお隣の大国、中国をみなさんはどのくらい知っていますか。急速な経済発展を進める中国の農業の実態、商社やコンビニなど日本企業の動き、今後日本に及ぼされるであろう影響は何なのか、中国の現状を視察してきました。

Report

ただ、ただ呆然

15年前訪れた際の、路上を自転車が覆い尽くしていた上海は一変し、ネオンライトが光る高速道路、ニューヨークかと思わせる最新の高層ビル群……。 「上海はもはや中国じゃないよ」という現地の人を後に、3日で2000km横断という過酷な視察がスタートしました。

上海からバスに乗り、北京へ向かって高速道路を30分ほど走ると、そこは想像を遥かに超えた中国農業のドラマが車窓から飛び込んできました。東京都ほどの小麦畑、大阪府ほどの田んぼ。その間の半端な土地には、世田谷区ほどのにんにくや豆の野菜畑。想像を絶するとはまさにこのこと、とにかくでかい! 荒地はなく、土あるところに畑ありという感じです。気の遠くなるような農地の上を縦横に走る高速道路は、各都市間をはりめぐらしています。高速道路の長さは今や、世界第2位。どこまでも景色は田んぼと畑が続き、まさに農業視察のためにあるかとも思われる高速道路は、とっもすいていました。

そして、広大な大地を耕す生産者の多いことにまた呆然。一部の機械作業を除いてすべて手作業とのこと。

農業人口を聞いてみると「10億ぐらいではっきりわからん。カウントしている内に増えているし、農家は人手がカギ、みんな子どもはしっかり作っているよ」と、平然とした答えが返ってきました。アメリカが大型機械で広大な農業を制しているのに対し、中国では10億もの人海戦術でこなしています。

中国での有機栽培は

ここ20年間の生産量は、米、大豆で150%、小麦で200%のアップというデータからも推測されるように、しっかり化学肥料と農薬のセットが一般農家に浸透している様子が随所で見られました。中国のように広く大きな国でこのような農業が広がれば、地球規模での環境への影響も心配です。

一方、日本向けに行なわれている有機農場と加工現地もいくつかまわってきました。米、麦を中心にキヌサヤ、ネギ、ゴボウ、ブロッコリー、カリフラワー、キャベツ、ニンジンなどを作っていました。有機の面積は非常に狭く、うまく輪作を取り入れながら一般栽培と同様に、草取りから収穫まですべてを手作業でこなしていましたが、有機の許容である農薬は使っています。野

菜は商社を通してコンビニエンスストアなどに供給されます。加工工場は最新の設備で管理されており、そこで働く工員の時給はなんと30円程度。歩合制のため、みんな必死で働く光景が印象的でした。

大きくらでいっしょぼーやの生産者と違うのは、環境と体の安全のためという動機ではなく、ただお金になるからというのが第一にあること。また、らでいっしょぼーやは担当スタッフが毎週栽培の確認をしていますが、中国では有機認証の取得を日本からはるばる通訳を交えて確認しています。改めて、畑の様子が変わるしくみは顔の見える会員制の流通にあると確信しました。

今回の視察はまさに“百聞は一見にしかず”。短期間の視察ではありましたが、有無を言わせない中国の底力を素直に感じました。着実に日本の技術を取り入れ、加工品を中心にますます日本へ向けて市場を拡大していく中国。また、隣の韓国でも生鮮野菜を中心に日本への輸出が広がっています。今回見てきた現実を直視した中で、より新しいことを取り入れていくためにも、国内の生産、流通、消費の関係を見直す時期と痛感しました。

中国の主要一次産品生産量参考データ (中国農業必須・農文協参照・97年版)

卵	万トン	牛乳	万トン	肉類総計	万トン	豚肉	万トン	海面養殖	万トン	内水面養殖	万トン	木材	万m ³	果実	万トン
1982年	280.9	1978年	88.3	1979年	1062.4	1979年	1001.1	1980年	325.7	1980年	124.0	1980年	5359.5	1978年	657.0
1995年	1676.7	1995年	576	1995年	5260.1	1995年	3648.4	1995年	1439.1	1995年	1078.1	1995年	6045.4	1995年	4214.6
伸び率	596.9%	伸び率	652%	伸び率	495.1%	伸び率	364.4%	伸び率	441.8%	伸び率	869.4%	伸び率	112.8%	伸び率	641.5%

生肉 95/78 = 18.06 シェア - 7.3% シェア - 71.2% 95年産肉類総計 83.8% 95/78 = 6.27 シェア - 16.8%

担付 148% プト付 675% バナ 3676%

米	万トン	米の単収	kg/ha	小麦	万トン	麦の単収	kg/ha	大豆	万トン	大豆の単収	kg/ha	野菜	万トン	野菜の作付面積	1000ha
1978年	13693	1978年	3978	1978年	5384	1978年	1845	1978年	757	1978年	1060	1991年	20409	1978年	3736
1995年	18523	1995年	6025	1995年	10221	1995年	3541	1995年	1350	1995年	1661	1995年	25722	1995年	9514
伸び率	135.3%	伸び率	151.5%	伸び率	189.8%	伸び率	191.9%	伸び率	178.3%	伸び率	156.7%	伸び率	126.0%	伸び率	254.7%

78年米生産のシェア - 44.9% 95年は99.7%面積では27.9% 95年度生産量シェア - 21.9% 作付面積 26.2% 95年生産量シェア - 2.9% 作付面積 4%